



中原小学校 学校だより

中原通信

令和7年 3月3日 (月)

文責 増永 善久



もうすぐ春です

先日の授業参観・PTA総会・学年懇談会はお世話になりました。月日が経つのは早いもので、2月が終わり、早くも3月が始まりました。外の空気も暖かさが増し、春の気配が感じられるようになってきました。学校では、今年度を振り返り、良かった点や課題を検証し、どのような改善が必要かを出し合うなど、来年度に向けた動きも活発になってきています。ただ、春は別れの季節でもあります。3月21日(金)の卒業式に向けた準備も進みはじめました。



自分で考える

菊陽町のTSMCの話題をニュースでよく目にします。実際に、菊陽町や大津町の街並みなどは大きく変化していると近隣の西原村に住む私自身感じています。一つの大企業の進出で、大きな変化が出ました。これから先もAIの発展などで変化の激しい社会が進み続けるのではないかでしょうか。そのような社会で、子どもたちの力として大切なものは、「自分で考えること」ではないかと思っています。学校では、児童の皆さん「主体的に学習に取り組む授業づくり = 自ら学ぶ授業づくり」を目指していますが、ややもすれば「教える = 一方的にああしなさい、こうしなさい」という場面が多いかもしれません。その方が効率が良く、時間もかからない場合があることは否めません。また、現代社会は、ネットを検索すれば「答え」が示してあり、考えなくても解決する場面も多いと思います。「タイムパフォーマンス」が大切なものの一つと考えられる今の世の中、「自分で考えること」は時には、面倒くさく、時間がかかり、効率が悪いことかもしれません。しかし、自ら課題を見つけ、課題解決のために「自分で考えて、試行錯誤して、最終的に自分で答えを導き出すこと」が眞の子どもたちの力になると思います。これからも自分の力を伸ばし、可能性を広げ、社会の変化に対応できる子どもの育成をめざし「自分で考えること」を大切にしていきます。

新入児童体験入学

2月10日に来年度入学する児童とその保護者の方を対象に新入児童体験入学を実施しました。来年度、本校に入学する児童は3名です。保護者の方は学校からの説明、新入児童は在校児童との交流会に分かれて参加してもらいました。交流会では5年生が主導し、自己紹介をはじめ、楽しく交流する様子が見られました。また、交流会が終ったあとは、来年度の登校班の編成を行い、実際に登校班で帰った新入児童もいました。4月の入学が楽しみです。



3・4年生福祉体験

りんどう荘の方を講師に迎え、2月18日に3・4年生で「手話」について学ぶ福祉体験授業が実施されました。福祉を学ぶことは、社会がかかる課題に対して、自ら気づき、必要な知識や技術を身につけることで、みんなにやさしい社会(持続可能な社会)をつくり出す一員をめざすことだと思います。りんどう荘の方の丁寧でわかりやすい説明のおかげで、子どもたちの福祉に対する関心が高まっていました。



今年度最後の学校運営協議会

2月21日に今年度最後の学校運営協議会が開催されました。学校運営協議会の制度は、学校と地域住民の皆さん等が力を合わせて学校の運営に取り組み、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことです。本年度の学校の取組を委員の皆さんと一緒に振り返り、学校運営に関し、質問や意見を出してもらうことで、次年度の学校運営につながる時間となりました。地域に支えられている中原小学校のすばらしさが継続していくようこれからも努めてまいります。

